

企業情報

友鉄工業株式会社  
業種：製造業  
従業員規模：51～100人

課題分類

生産プロセスの改善  
業務プロセスの効率化  
企業文化や組織マインドの変革

DX実践の目的

バックオフィス

# 事務作業を手始めに製造現場の自動化で業務効率UP！

課題内容

- 自動車部品用プレス金型鋳物、工作機械・各種産業機械鋳物を製造しており、製造現場や事務作業でデジタル化の必要性を感じていた。
- ・ 事務作業では手書き文化が長く、数字の転記が大きな負担となっていた。
- ・ 製造現場では多品種少量生産を行っており、品質管理工程で検査書を手書きし、データベースに入力していた。
- ・ また、数多くの品質条件のチェックシートを紙ベースで管理していたため、製品の不具合の要因に関する情報収集に長時間かかっていた。
- ・ 社内全体がDX化に消極的な雰囲気であった。

実施概要

- 協力会社からRPAの説明を受けた後、一か月のお試し期間を経て、実際の導入につなげた。
- 事務作業に、事務の自動化を可能にするRPAツールを導入し、紙ベースの売上情報や在庫情報をデータ化するために、操作内容をフローチャート化し実行のシナリオを作成した。
- 製造現場の品質管理業務へもRPAツールを導入し、不具合発生時に、その原因となる数値を瞬時に確認できるようデータ化した。

効果

- RPAにより、入力や集計業務にかかっていた労働時間が大幅に削減された。
- 毎日15分～45分かかっていた、売上・在庫情報の集計業務をボタン1つで完了できるようになった。
- 製造現場での品質管理業務では、1回45分かかっていた集計作業が、現在7分に短縮できた。検査データをグラフ化し、不具合の要因を短時間で特定できるようになった。
- RPAの導入後一年半で729時間の労働時間の縮減。
- 業務の効率化が進んだことで、社内で勉強会を開催したり各部署間の交流が生まれるなど、DXに対する社員のモチベーションがアップした。

苦労話

製造現場に浸透させるのはすぐには難しいと判断し、最初は事務から自動化を行った。多品種少量生産の製造現場では、社員だけでは難しいと考え、外部人材も活用した。

ITツール

【使用ツール】 WinActor <https://winactor.com/>  
【取り扱い企業】 株式会社NTTデータ <https://www.nttdata.com/jp/ja/>  
【ツール概要】 Windows端末のあらゆるアプリケーション手順をシナリオとして学習し自動化するRPAツール



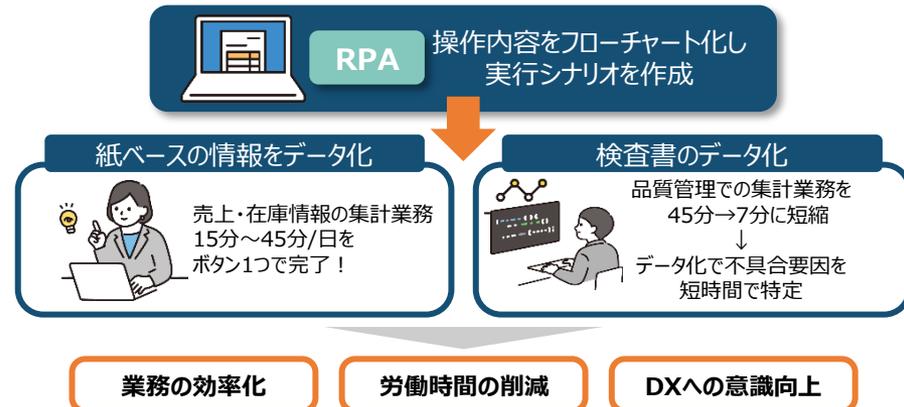
Point

- ・ 手書き作業の効率化(事務の経理業務が15分～45分をボタン1つで完了)
- ・ 品質管理では45分→7分に作業時間が短縮)
- ・ 導入後1年半で729時間の労働時間の縮減
- ・ 社員のDXに対する意識が向上

【導入前】手書きでの転記作業や手書きの検査書の入力作業が負担



【導入後】RPA※を使用して入力・集計業務を自動化



※ RPA(Robotic Process Automation): 定型業務を自動化できるソフトウェア技術

補助金活用

—